

※皆様からいただきましたご意見・ご要望につきましては、原文のまま掲載させていただいています。

移住・空き家・土地について

空き家・土地

空き家・土地を有効に活用出来れば良いのでは。家を探している方にできるだけ安く（賃貸又は売家）交渉できるように。

回答

町では空き家・土地バンク制度を活用して、空き家等の利活用を進めています。交渉については、法律により町が関与することができないため、紹介以後の売買（賃貸）契約に係る交渉は、トラブルを防ぐため仲介業者を通していただきます。

なお、契約に関する仲介手数料への助成制度がありますので、ご利用ください。



まちの事業紹介

◀「移住・定住」（6ページ～9ページ）では、空き家・土地バンク制度を活用した補助事業等を掲載しています

移住体験

田舎ならではの住み心地を分かってもらえるような体験宿泊施設や農地のレンタル、仕事場の確保等があると移住又はUターンしようか考え始めるきっかけになると思います。

回答

九重町への移住を体験してもらう施設として令和2年度に、飯田地区（笠ノ口）に移住体験住宅1棟を整備しています。

今後、コロナの感染状況を考慮しつつ、移住者向けポータルサイト等を活用してPRを行い移住促進を図ります。



移住者向けポータルサイト

◀九重町へ移住したい方への情報発信として「kokokura ココクラ」を令和3年10月に開設しました！



子育てについて

出産祝金

子供3人生まれたら50万とか4人生まれたら100万とかお祝い金をあげても良いのでは。私自身、子どもはいませんが、生まれたときに支援があると助かります。

回答

現在、出産祝金については、一律3万円の支給をしています。

また、第3子以降に18歳まで手当を支給する「子宝手当」では、最大で107万7千円（定期的支給）を給付しています。

この他にも、子育て世代へのさまざまな経済支援を行っています。



まちの事業紹介

◀「子育て」（14ページ～20ページ）では出産祝金や子宝手当の他、出産・子育てに関する17事業を掲載しています

子育ての情報発信

子育て世代への対応は充実していると思うので、そのような所を売りにして、もっと外部や内部にどんどん情報発信をしていくべき。

回答

子育て支援の情報発信については、ホームページや広報ここのえを通じて発信しており、これに加え、子育て支援アプリ「すくすくここのえ」を導入しています。

アプリの活用に関しては、母子手帳アプリ「母子モ」のダウンロードをお願いします。

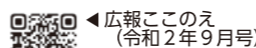
また今後こうした子育て環境を外部へPRし、子育て世代の移住促進を図っていきます。



「すくすくここのえ」については、九重町ホームページまたは、広報ここのえ令和2年9月号特集をご覧ください。



◀九重町ホームページ（母子モ）



◀広報ここのえ（令和2年9月号）

「第5次九重町総合計画策定に向けたアンケート」 ご意見・ご要望にお答えします！

「広報ここのえ」6月号と9月号では、住民の皆さまを対象とした各種アンケートの結果報告をさせていただきました。

今回は、皆さまからいただきましたご意見・ご要望に関して、既に取り組んでいる事業や制度を中心に、その内容について周知のためにお知らせします。

なお、将来的なまちづくりに関するご意見等につきましては、第5次総合計画策定するうえで、参考にさせていただきます。



行政運営について

防災無線

おくやみの放送でお通夜が終わっても、お通夜の放送はどんなものでしょうか？聞く方になると変な感じです。放送の流し方は考えて欲しいものです。

回答

おくやみ放送については、いただきましたご意見により、お悔やみに関する情報の提供方法・提供内容（日時・場所）について、検討していきます。

災害時の対応

未曾有の水害にあった時、人はどう動けばいいのか。隣近所は？行政職員は？訓練が必要ではないか。

回答

自然災害に対しては、自らの判断で避難行動をとることが重要です。そのため、危険個所の把握、避難場所の確認、避難の方法等について、日常から予め確認・認識しておく必要があります。現在、社会福祉協議会と協力し、「支え合いマップ作成事業」に取り組んでいますので、行政区単位での非常時の行動の確認や避難訓練に向け、是非ご利用ください。

また、9月の「九重町防災月間」には、防災訓練を開催していきます。

●支え合いマップ作成は、健康福祉課（☎76-3821）までご相談ください

役場の休日体制

休日役場に電話したら出ませんでした。24時間体制で対応して下さい。

回答

夜間休日の対応については、24時間体制で対応しています。しかし、対応できる電話番号は、役場の代表番号のみで、各課直通の番号は対応することができません。

夜間・休日の緊急連絡は、代表番号（☎76-2111）をご利用ください。

LINEの活用

LINEがあまり活用されていないように感じます。たくさん登録していただいているのであれば、町の情報をもっと発信していいのではないのでしょうか。

回答

現在登録者数は、850人を超えました。LINEは、SNSにおける重要な情報発信手段であり、ホームページ等と連携した情報提供や災害時の緊急的な情報発信など、情報提供の充実に努めます。



九重町HP

◀九重町LINE公式アカウントを友だち追加していただくと、メッセージやタイムラインで情報が届きます！